

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	ほどがや市民活動センター アワーズ		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト	
	行政	横浜市	
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。		
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援		
役割及び責任分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。		
		事業項目	受託者の役割 ◎事業運営に関する情報共有 ◎定期的な共同会議の実施 ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討
		委託者の役割	
	施設及び設備の維持管理に関すること	◎設備の管理、保守・点検 ◎軽微な維持管理 ◎単年度の修繕計画の立案	◎設備の提供 ◎設備管理に関する調整及び協力 ◎中・長期の施設運営計画の検討
	場所提供	◎利用しやすい雰囲気、ルール作り	◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定
	運営全般に関すること	市民・団体向け ◎相談対応による市民ニーズや課題の把握 ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供 (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)	◎課題解決に必要な行政情報等の提供 ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定
		区内施設向け 地域コーディネートにおける相談窓口	
	事業に関すること	事業全般 ◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供 ◎広報紙の発行 ◎ホームページの開設、運営	◎区広報紙面確保等、広報機会の協力 ◎行政情報等の提供 ◎事業運営への協力
		自主企画事業 ◎活動入門事業の実施 ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施 ◎活動支援・人材育成につながる事業 ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業	◎事業実施の支援 ◎関係機関との連絡調整 ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供
		地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊） ◎登録者の管理 ◎区内活動団体、施設への紹介 ◎PR・交流の機会提供	◎事業運営への協力
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで		

記入日	令和 7 年 3 月 21 日
記入者	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト ・記入責任者 氏名： 北川 有紀 連絡先： 045-334-6306
	<p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 保土ヶ谷区地域振興課 ・記入責任者 氏名： 川瀬 倫子 連絡先： 045-334-6308

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	C	C
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	B	C
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	B	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	B	C
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	A	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	B
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	C	B
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	B
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	C
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	B	C
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	C	B
3	これまでを振り返っ、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	B
4	期待された事業成果を得られることができたか。	B	C

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・街の学習応援隊事業の改訂にあたり、認識の違いを確認し、目的や進め方をすり合わせながら整理することができた。・協働運営会議の在り方に対する認識の違いがあった。・地域連携事業として参画したホシテンフェアでは、関係者が多岐にわたる中で区政推進課・YADOKARI(株)の担当者と半年前から企画の進め方等を繰り返し話し合い、共有できた。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・他部署他機関との連携が増加している分、地域振興課事業について企画段階から相談したり、把握する機会が減ってしまっている。年度の目標や事業計画の全体像を共有できるようにしたい。・次年度は移転に関する協議も発生するため、利用者への混乱が生じないよう一層丁寧なコミュニケーションを心掛けたい。・自主事業を計画する段階で、事業の目的や目指す成果、アワーズが直接実施する必要性などを再考する必要がある。・学生などの若者を対象とした事業も大切だが、既存の活動団体の基盤強化や自立化を図る取り組みを行う必要がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・個人情報取り扱いや共有方法に認識の違いがあり、整理することができた。・区が実施した人材育成事業に参加してもらうことで、参加者の人となり等を共有できた。参加者が今後、アワーズを利用する機会が多くなるため、事前に知る機会があったのは良かった。・評議会は質疑応答を中心にすることで、時間を有効活用できることがわかった。・「定例おそうじ」では資源化推進担当経由でごみ回収に対応いただき、役割分担した運営ができた他、保土ヶ谷少年補導員と警察署の方の参加もあり、分野を越えた活動連携への理解が広まった。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・新しい運用方法で街の学習応援隊事業を実施したが、登録者数が伸びていないため広報等を行っていく必要がある。・評議会資料を伝わりやすいものとする必要がある。・地域社会の状況も変化する中で、必要に応じた地域振興課事業との協働機会の再検討が必要。日頃からの対話による情報共有と、各事業について目的や目標を再確認していきたい。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・応援隊事業の改訂ができ、登録希望者とも改めて事業目的を共有する機会となった。
- ・協働運営会議の運営方法を見直した結果、参加のハードルが下がり前向きな議論が交わされるようになり、ホシテンフェアでのアワーズ室内企画の運営を協働運営会議メンバーで行うことができた。
- ・年2回の評議会を通じて、市民活動・生涯学習の「評価」の考え方について議論が進んだ。
- ・互いの事業を共有、広報をすることができ、参加者増につなげることができた。
- ・Instagram のフォロワー数増が著しいのは情報発信の成果だと思う。発信する情報や投稿の仕方の工夫などし、新規事業やネットワーク拡大に活用していきたい。

自由記入欄